

8-1 事業推進の考え方

バリアフリー化の事業を効率的かつ確実に推進していくためには、行政、事業者、市民がそれぞれの役割を把握し、役割分担を明確にしたうえで実施する必要がある。

また、お互いに理解し合い、それぞれの立場を尊重して協力しながら同じ目標に向かって進まなければならない。

○行政の役割

- ・ 公共空間に関する特定事業計画の策定と率先した事業の実施
- ・ 事業者が行う事業の調整・協力
- ・ 継続的な市民意見やニーズの把握、検証によるバリアフリー化の促進
- ・ 市民、事業者を啓発し、誘導していくための活動

○事業者の役割

- ・ 特定事業に基づく、特定事業計画の策定と事業の実施
- ・ 自発的なバリアフリー化への対応
(施設整備などのハード面の環境整備、従業員の対応などソフト面の環境づくり)

○市民の役割

- ・ 心のバリアフリーの促進
(バリアフリーに対する理解の向上、障がい者等への援助など)
- ・ 施設等の利用者として、バリアフリー化の状況のチェック

8-2 今後の対応

今後、バリアフリー化を促進していくためにインクルーシブ・デザインの考え方により、バリアフリー化の状況を監視し、改善又はエリアを拡大することで継続的な発展（スパイラルアップ）を目指すものとする。

⇒P D C Aサイクルによるマネジメント

